

AIオンデマンド交通による移動創出の取り組み(神奈川県横浜市)

買い物×交通

事業実施主体

【共創プラットフォーム】

日吉・綱島エリア共創プラットフォーム

【実施主体】 東急バス株式会社

【共創パートナー】

株式会社東急ストア(商業)

Tsunashima SSTまちづくり運営協議会(まちづくり) 他

地域課題

- 日吉駅や綱島駅の周辺は幅員が狭い道路が多く、バスが進入できる箇所が限られたり、地形的にも勾配が大きいエリアが存在するため、徒歩や自転車での移動も容易ではない。
- バス路線は充実しているものの、面でカバーしきれていない交通空白地域も一部存在しており、既存のバスを補完するような新しい移動手段が必要と考える。

実証事業の内容

- 交通事業者・商業施設・複数分野の事業者等との連携により、本エリアにおける生活圏内での移動がサブスクリプションで利用可能となるAIオンデマンド交通を提供する。
- 協同する事業者における広報等による需要の喚起、相互送客による利用促進、利用者や地域住民からのフィードバックを図ることで、持続可能な交通サービスを実装する。

今後の展開

- 一般利用者の拡大を進めながら、法人利用者の獲得や自社運行している法人もターゲットにし、運賃収入を増加させる。
- 非運賃収入としてラッピング広告や車内広告による収益増も図る。
- 電車や路線バスの利用客を対象としたバンドルプランの提供。

事業実施区域

横浜市港北区の日吉駅・綱島駅を含む地域



出典:国土地理院タイル(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

事業体制

事業の全体像・共創の仕組み

